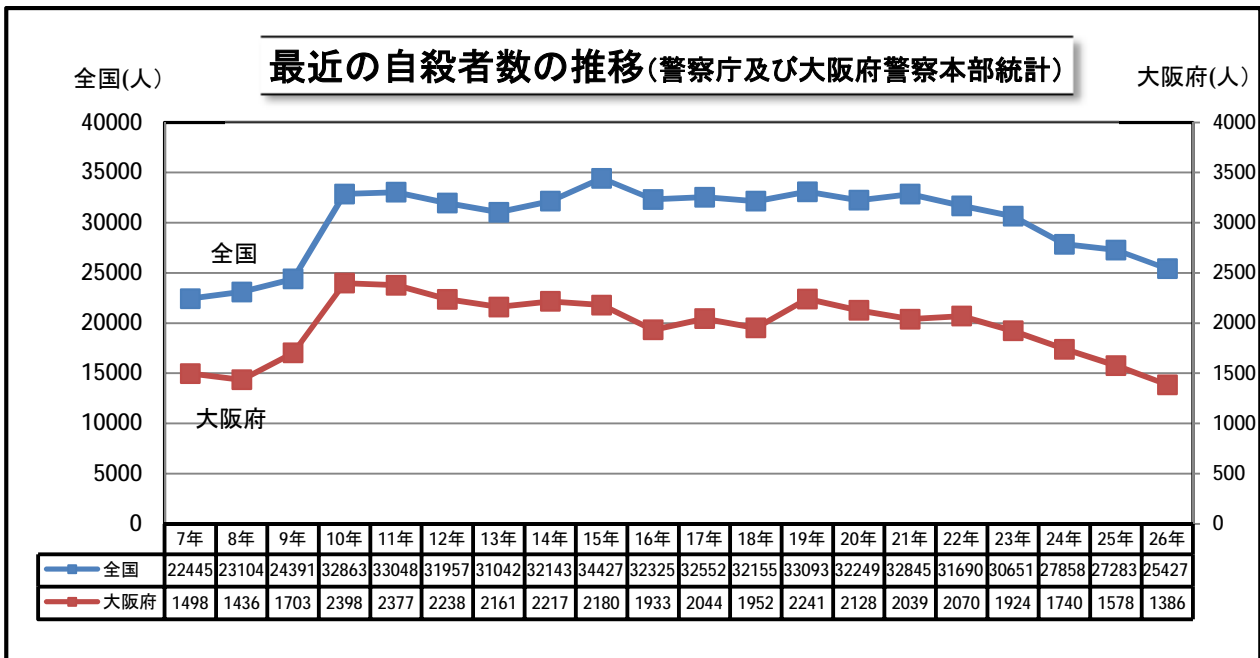
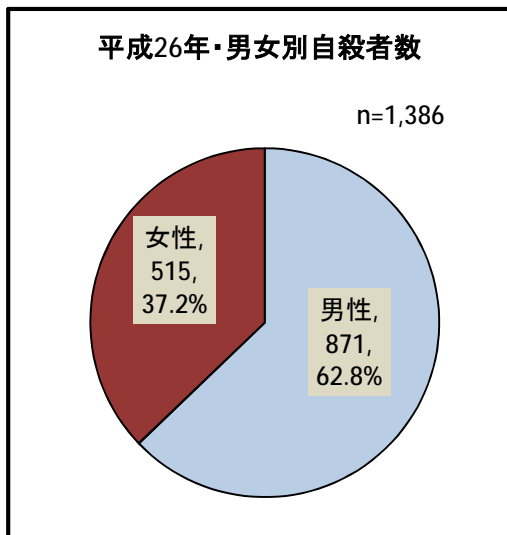


# 大阪府の自殺の概要<平成26年>

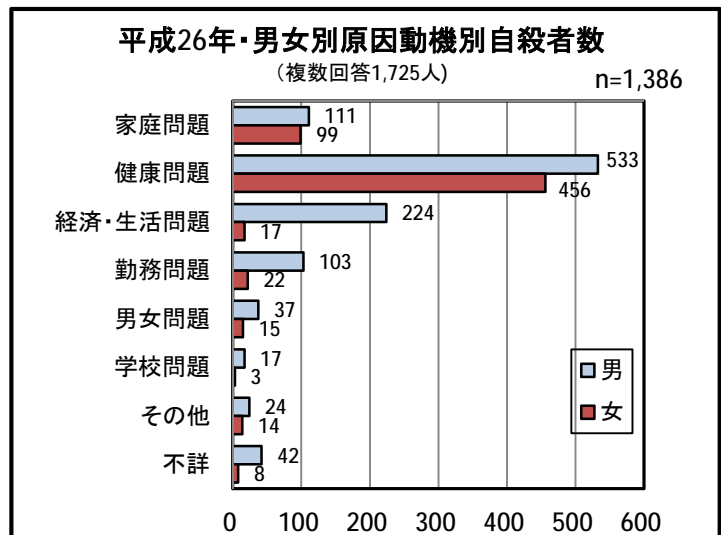
※警察庁及び大阪府警本部統計



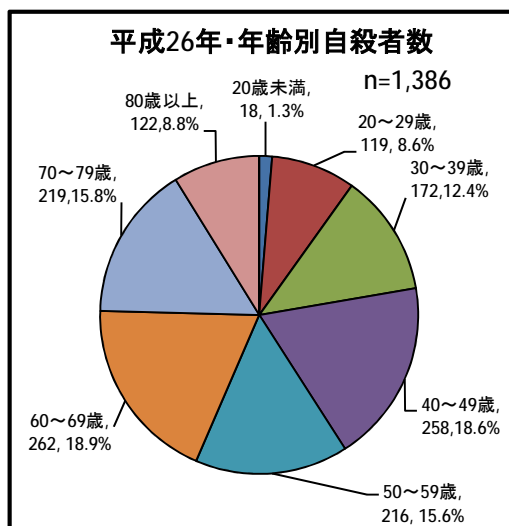
全国の自殺者数は、平成10年以降3万人を超えており高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。  
 大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの、横ばい状態で推移。平成22年から減少傾向となり、平成23年以降続けて2千人を下回りました。平成26年は1,386人、1日約4人が亡くなっている状況です。



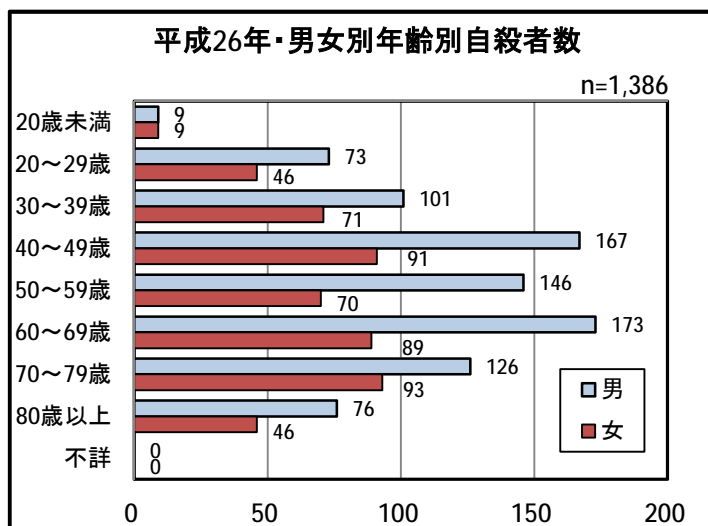
男女別自殺者数は、男性が871人(62.8%)、女性が515人(37.2%)となっており、依然として男性の数が女性の約1.7倍となっています。



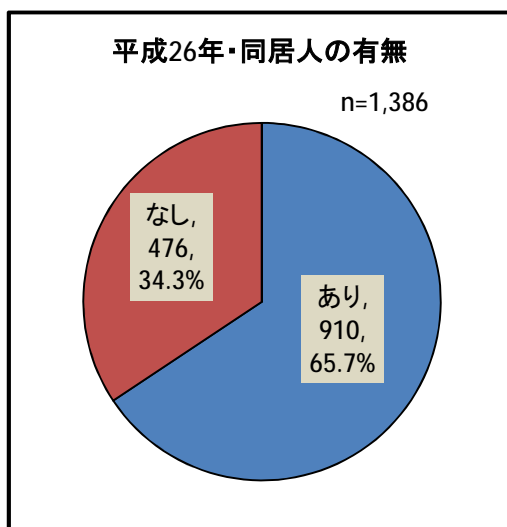
平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできませんが、昨年同様「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」が男女共に半数以上を占めています。割合としてはあまり変わりが見られませんが、「勤務問題」「男女問題」「学校問題」は、いずれも若干増加傾向にあります。



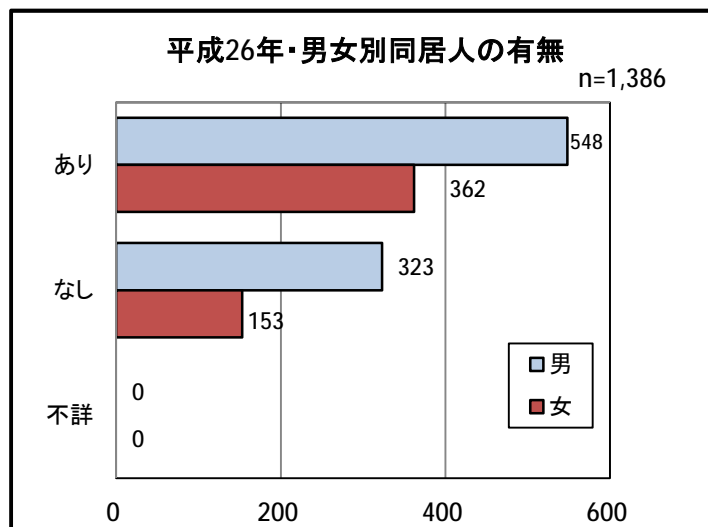
年齢別自殺者数の割合は、「60～69歳」が262人（18.9%）と最も多く、次いで「40～49歳」が258人（18.6%）、「70～79歳」が219人（15.8%）と続いており、40歳以上の割合が全体の約8割を占めています。



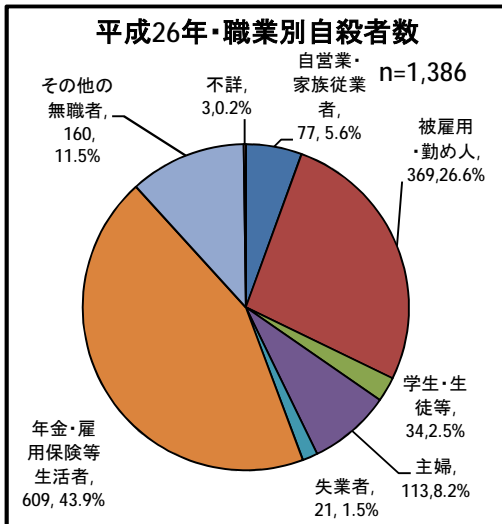
年齢別男女別自殺者数を比較すると、女性は「40～49歳」「60～69歳」「70～79歳」の自殺者数の数値がほぼ並んでおり、男性では「40～49歳」と「60～69歳」が多くなっています。



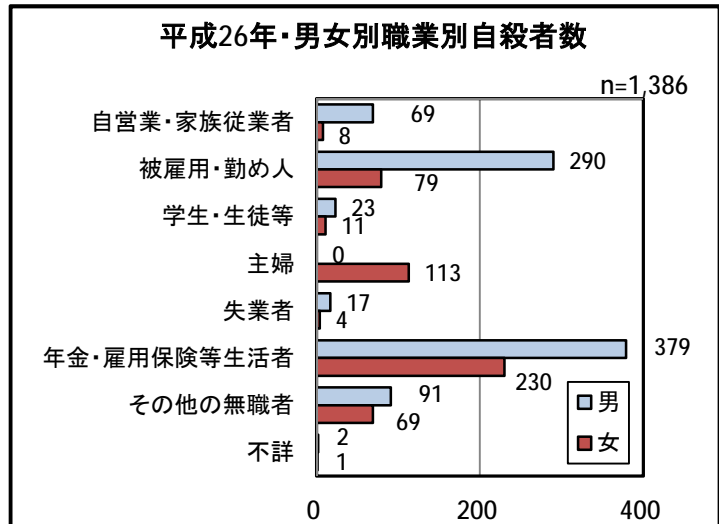
同居人の有無でみると、自殺者のうち、「同居人あり」が910人（65.7%）、「同居人なし」が476人（34.3%）とあり、「同居人あり」が約6割を超えています。



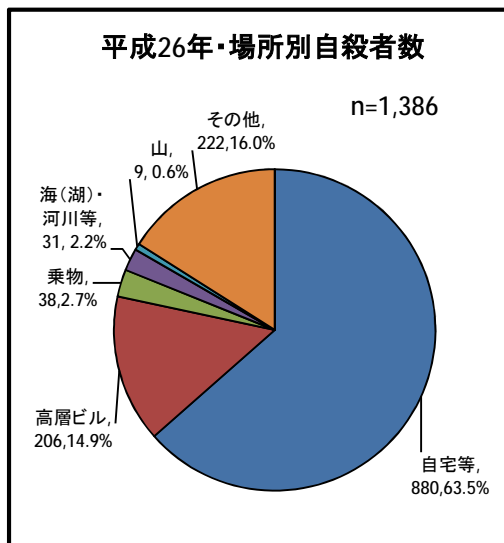
男女別に同居人の有無をみると、男性で548人（62.9%）、女性で362人（70.3%）が「同居人あり」でした。また、男性で323人（37.1%）、女性で153人（29.7%）が「同居人なし」でした。割合で見ると、女性のほうが「同居人あり」が多くなっています。



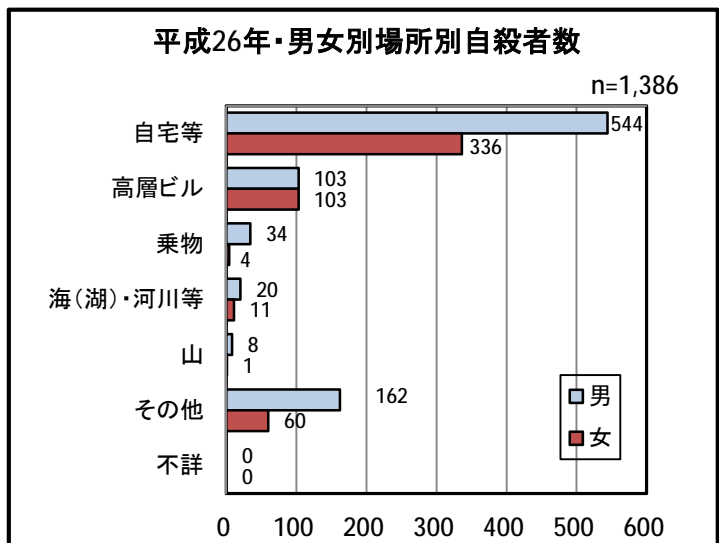
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が多く、609人と全体の約40%を占めています。この割合は昨年の割合より減少しています。次いで「被雇用・勤め人」369人（26.6%）「その他の無職者」160人（11.5%）となっています。



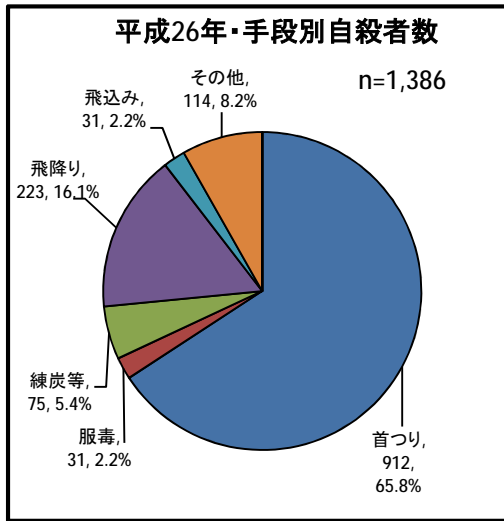
職業別自殺者数を男女別で見ると、男女共に「年金・雇用保険等生活者」が多く、次いで男性は「被雇用・勤め人」、女性は「主婦」が多くなっています。



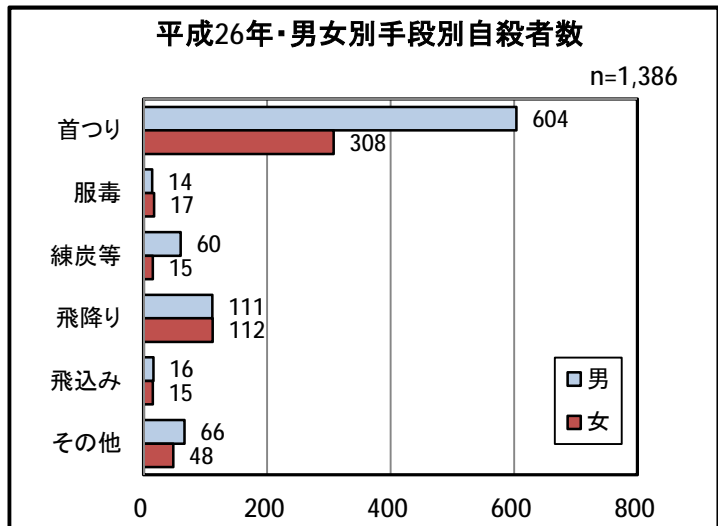
場所別自殺者数では、「自宅等」が880人(63.5%)と6割を超えており、次いで「高層ビル」と続いています。



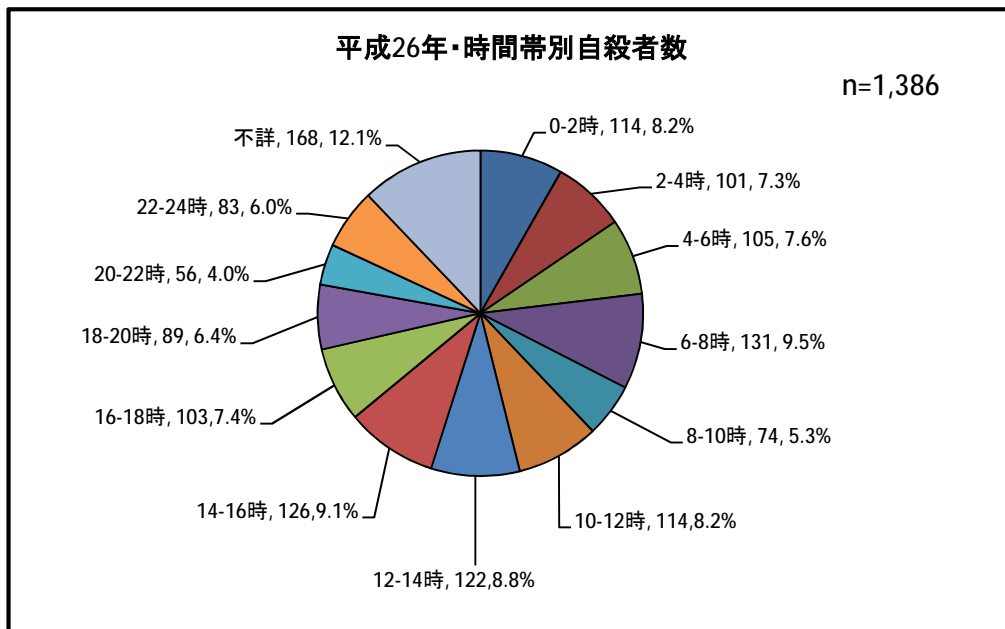
男女別で場所別自殺者数を見ると、男女共に「自宅等」が多くなっており、次いで男女共に「高層ビル」と続いています。



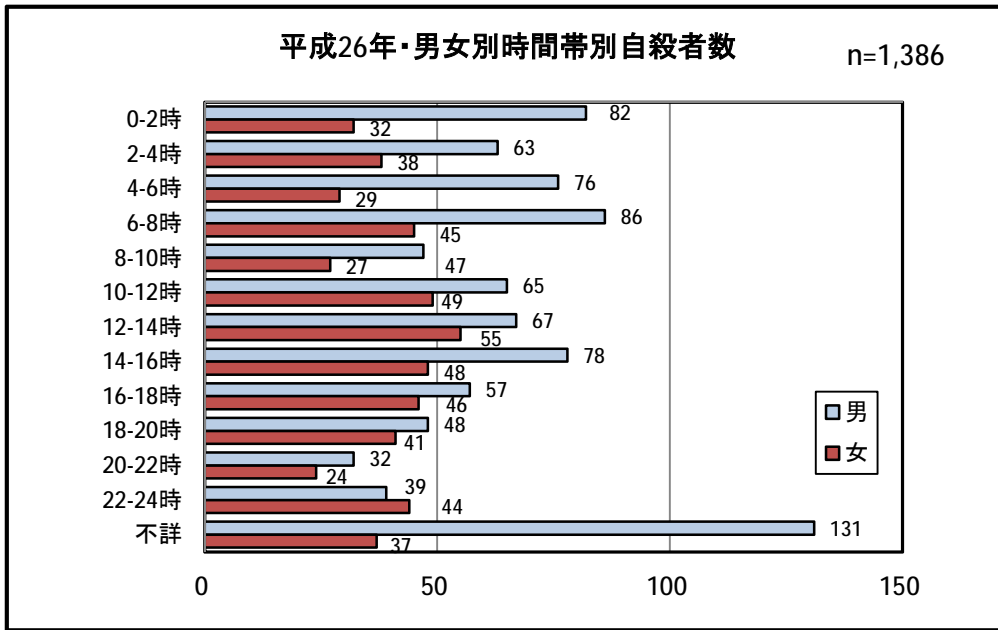
手段別自殺者数では「首つり」が912(65.8%)と過半数を占めており、次いで「飛降り」が223人(16.1%)となっています。その他の分類においては、昨年と比べると「練炭等」が若干増加、「服毒」が若干減少し、それ以外はほぼ昨年同様の割合となっています。



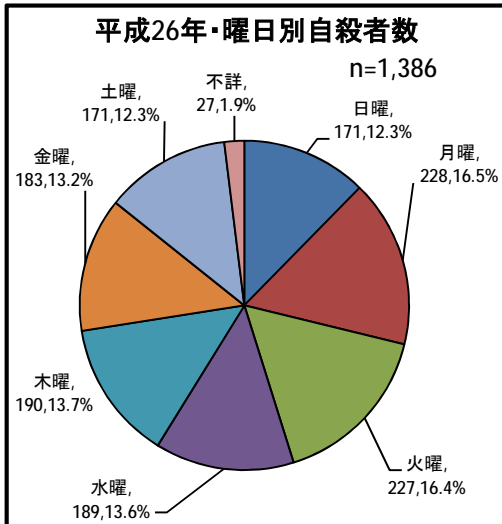
手段別男女別自殺者数を見ると「首つり」が男女共に多く、次いで飛降りが多くなっています。その他の項目を見ると、ほとんどの手段で男性が上回っていますが、「服毒」のみ女性の方が多くなっています。



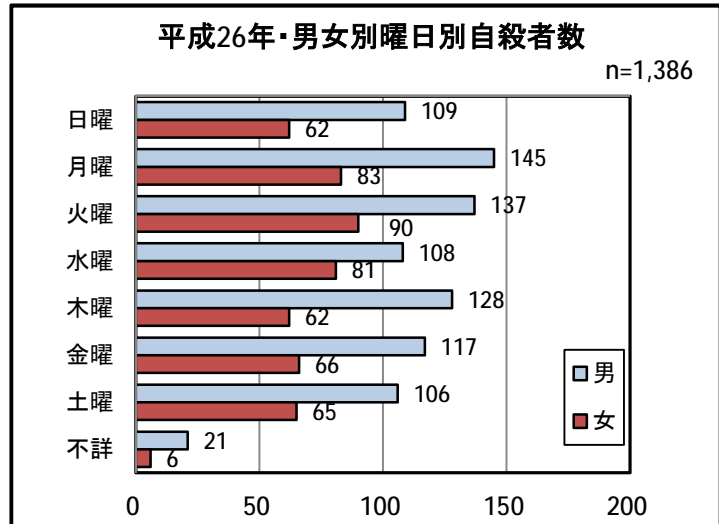
時間帯別自殺者数の割合では、どの時間帯も大差は見られませんが、「不詳」以外で最も多い時間帯は「6-8時」の131人(9.5%)、次いで「14-16時」の126人(9.1%)です。逆に少ない時間帯は「8-10時」「20-22時」となっています。



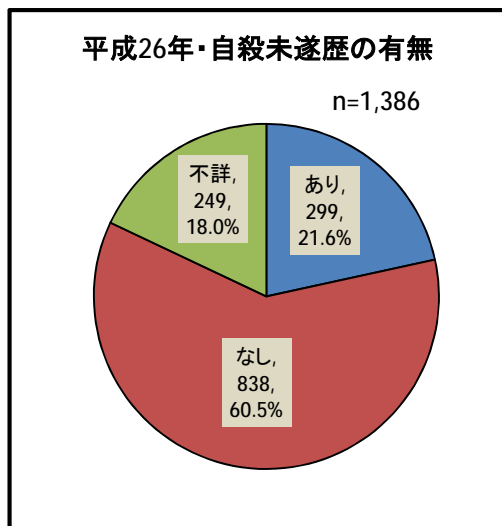
男女別時間帯別自殺者数については、男性で目立つ時間帯は「6-8時」「0-2時」「14-16時」「4-6時」となっています。女性は時間帯別で見るとゆるやかな山型を描いており、夜が明けてから増え始め、日中にピークを迎えています。男女共に昨年と同様の傾向を示しています。



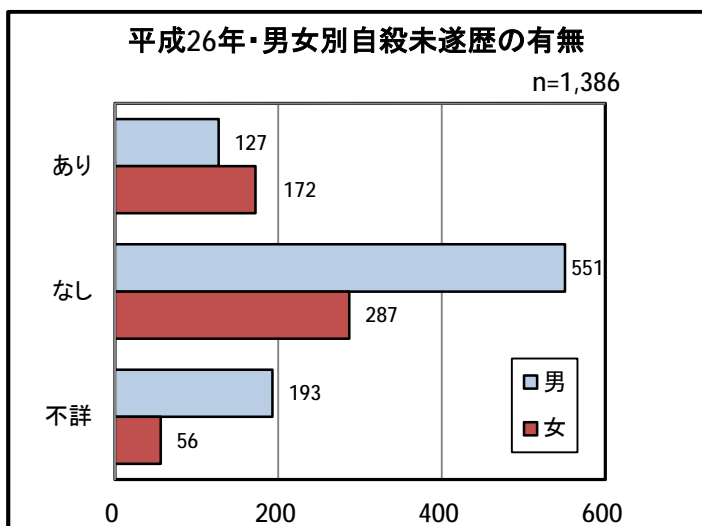
曜日別自殺者数のそれぞれの割合に大きな差は見られませんが、「土曜日」「日曜日」といった休日では若干低く、週始めの「月曜日」「火曜日」の割合が若干高い傾向にあります。



男女別ではそれぞれの項目にそれほど差は見られませんが、男性では「月曜日」、女性では「火曜日」の数値が高くなっており、昨年と同様の結果となっています。



自殺未遂歴の有無では「あり」は299人(21.6%)、「なし」は838人(60.5%)、です。「あり」の割合は「なし」の約3分の1となっており、昨年と同じ傾向があります。



男女別に見た未遂歴の有無では、男性より女性の方が「あり」の人数が多く、男女別の「あり」の割合を比較すると、男性の「あり」の割合127人(14.6%)より、女性の「あり」の割合172人(33.4%)のほうが約2倍多くなっています。